

相関図における回帰法変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、SRL NEWS等の相関図における回帰法の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更日 2026年3月6日 ご案内分より

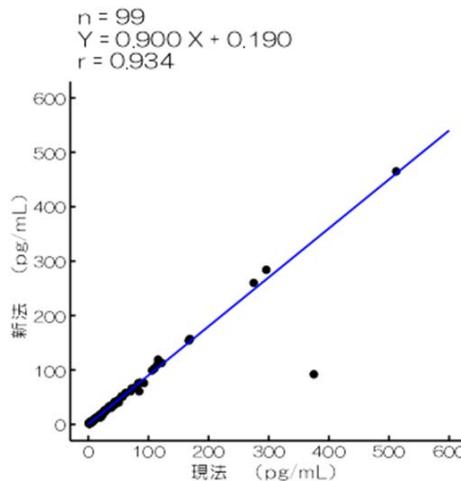
■ 変更内容

変更内容	新	現
相関図における回帰法	Passing-Bablok 回帰	標準主軸回帰

※Passing-Bablok回帰と標準主軸回帰との違いについては、次ページをご参照ください。

■ 変更後のSRL NEWSの相関図の例

変更後は、下図の通りPassing-Bablok回帰の解析結果を示した相関図をSRL NEWSに掲載いたします。変更に伴い回帰直線（青線）が表示されるようになります。相関係数 r の解析方法は従来と変更ありません。



SRL NEWSの相関図における回帰法

SRL NEWSの相関図における回帰式は、方法変更等による報告値への影響を要約することを目的としております。また、社内検討の結果をそのまま反映するようにしていることから、SRL NEWSに相関図を掲載する際は、極端値を含めたものを掲載しております。

現行の標準主軸回帰は極端値の影響を受けやすく、極端値がある場合に回帰直線がプロットからずれるため、報告値への影響の解釈を誤る要因となっております。そのため、当該解釈を誤ることがないように相関図の内容によっては、極端値を除外したものを合わせて掲載しておりました。

上記のことを解消する目的で、方法変更等による報告値への影響を適切に解釈いただける相関図を提示するために、回帰法を極端値の影響を受けにくいPassing-Bablok回帰に変更させていただきます。それに伴い、変更後は極端値を除外したものを合わせて掲載することは実施しないことにいたします。

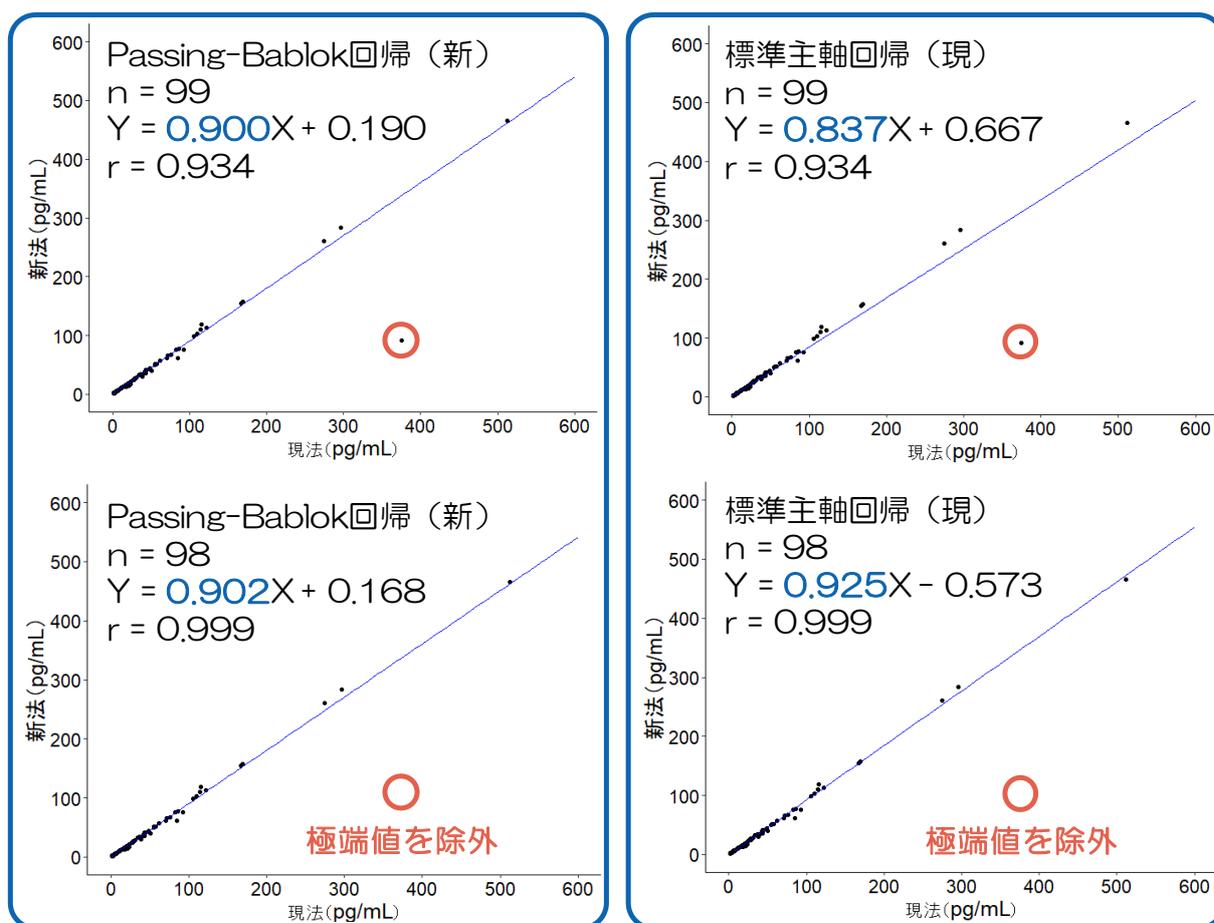
また（一社）日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会「バリデーション算出用プログラム Validation-Support/Excel Ver7.1の操作方法」では、極端値が存在する場合や分布が非正規分布である場合に、Passing-Bablok回帰によるデータ処理が推薦されております。

●極端値を含むデータでのPassing-Bablok回帰と標準主軸回帰の解析例

Passing-Bablok回帰は極端値の影響を受けにくいいため、赤丸で囲んだ極端値があっても回帰直線がプロットに合っており、極端値の有無で傾きに大きな相違はありません（左側）。

標準主軸回帰では、赤丸で囲んだ極端値によって回帰直線がプロットからずれており、極端値の有無で傾きに相違が出ております（右側）。

なお、極端値がある場合、今後も現状と同様に原因究明を行い、臨床診断への影響を調査した上で、方法変更等を実施いたします。



●参考文献

山西八郎. 医学検査 74.J-STAGE-1 (2025): 37-44.

日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会：バリデーション算出用プログラム Validation-Support/Excel Ver7.1の操作方法 第17版